



くらはし

舞鶴市立倉梯小学校
学校だより10月号
令和7年9月30日

リーダーシップとフォロワーシップ

暦の上では秋を迎えましたが、今年は残暑が長く続きました。日中は汗ばむ陽気の日もありましたが、ふと見上げた中庭の大桜の葉が色づき始め、静かに落ち葉となっていく様子に、季節の歩みを感じます。

さて、先日開催された2025年世界陸上では、世界中のアスリートたちが熱戦を繰り広げました。その姿からは、記録や順位以上に、スポーツマンシップの素晴らしさを強く感じました。勝敗を超えて互いを讃え合い、全力を尽くす姿勢に心打たれました。スポーツマンシップとはまさに「人としてのあり方」を示すものです。

「～シップ」と名のつく言葉には、他にも多くあります。例えば、**リーダーシップ**。先日の児童集会では、6年生のある児童がステージの上から、400名の全校児童を前に堂々と遊びを進行してくれました。その姿は見事で、頼もしさを感じました。また、運動会に向けての結団式では、声を張り上げ堂々と決意を述べる団長・副団長の児童の姿に「やる時は全力でやる」という倉梯の伝統を感じました。

一方で、本校が大切にしているもう一つの力が**フォロワーシップ**です。素晴らしいリーダーは、支えてくれる仲間がいてこそ、その力を最大限に発揮できます。どんなに優れたリーダーでも、支えてくれる仲間がいなくては力を十分に生かせません。仲間が支え、協力してくれることで、リーダーは安心して前に立ち、挑戦することができるのです。つまり、フォロワーシップとは、単なる補助的な役割ではなく、集団の力を引き出すもう一つのリーダーシップとも言えるのです。

本校の子どもたちの中には、目立つことはなくても、友だちの話に耳を傾け、そっと背中を押してあげるような行動を自然にとっている児童がたくさんいます。そうした姿こそ、これからの社会に必要な「支える力」であり、集団の中で信頼を築く土台となるものです。フォロワーシップは、誰もが持つことのできる力であり、育てることのできる力です。私たちは、子どもたちが互いに認め合い、支え合う関係を築いていけるよう、日々の教育活動の中でその芽を大切に育てていきたいと考えています。

ある日の放課後、数名の男子児童が正門付近に集まり「校長先生、今から駅伝選手に選ばれるように練習する。」と言って、友達と声を掛け合いながら走り始めました。先生に言われたわけではなく、自らの意志で、仲間と共に高め合おうとする姿に、私は深く感動しました。

10月には運動会があります。私達は、表現の見栄えよりも、日常の児童の高まりをお見せできたらと思っています。練習の中で育まれる協力、挑戦、思いやりこそが、運動会の本当の価値と考えています。

そして、がんばる児童の背景には、教職員や保護者の皆様、地域の方々の温かい声掛けやまなざしがあります。児童が「包み込まれているという感覚」が安心して挑戦できる土台です。だからこそ、学校と家庭・地域の**パートナーシップ**を大切にしていきたいと思えます。

中庭の大桜の落ち葉は、次の季節への準備であり、やがて豊かな土壌となっていくます。落ち葉をはくのは大変ですが、それもまた、次の豊かなステップのため。児童の成長も、日々の積み重ねの中にこそあります。今月も、児童の「実り」を共に見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

校長 四方 直人